

2018年11月9日

スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社

Uber Japan株式会社

本日より、スターバックスがUber Eatsの デリバリーサービストライアル導入をスタート！

本格的なコーヒーがご自宅、オフィス、公園などの屋外でも、幅広いシーンで楽しめる



スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社（本社所在地：東京都品川区、代表取締役最高経営責任者（CEO）：水口 貴文）とUber Japan株式会社（本社：東京都渋谷区）は、本日より、フードデリバリーサービス「Uber Eats（読み方：ウーバーイーツ）」のアプリを通じて、スターバックスの商品をお好きなときにお好きな場所へ注文できるサービスを開始します。まずは、東京都内の3店舗においてデリバリーサービスのトライアルをスタートし、他店舗への拡大を目指します。スターバックス ラテなどのエスプレッソビブレッジやスイーツ・スナック類等のフードメニュー、タンブラーなども含むスターバックスの高品質の商品がUber Eatsを通じてお買い求めいただけるようになります。

スターバックス コーヒー ジャパン代表取締役最高経営者（CEO）の水口 貴文は以下のように述べています。「日本でも急速に成長しているUber Eatsを通じ、スターバックスのコーヒーをお客様の日常の様々なシーンにお届けできることを大変嬉しく存じます。一杯のコーヒーを通して人と人がつながる瞬間を増やし、店舗以外でもスターバックスのコーヒーをお楽しみいただき、お客様の日常がより豊かで潤いのあるものになればと考えております。」

Uber Japan 執行役員 Uber Eats 日本代表の武藤友木子は以下のように述べています。「スターバックスのような世界的に著名なブランドと提携し、Uber Eatsを通じて人気のコーヒーを東京の方々にお届けできることを楽しみにしています。今回の取り組みは日本における今後の提携拡大の始まりであり、Uber Eatsのユーザーがスターバックスのお気に入りのメニューをより便利にお楽しみいただけることを目指したいと考えています。」

昨今、日本のフードデリバリーサービスの市場規模は著しく成長しております。この市場ニーズの高まりに伴い、Uber Eatsにおいても急速にサービスエリアの拡大を進めております。スターバックスコーヒー ジャパンは、首都圏をはじめとする全国47都道府県に1392店舗（2018年9月末時点）を展開しております。両社は今回のトライアル導入を皮切りに、より多くのユーザーに、最高のデリバリーサービスをお届けできるよう導入店舗の拡大及び取り扱い商品の充実に取り組みます。

